



平成26年9月24日
海上保安庁

日印海上保安機関長官級会合等の開催について

10月1～2日までの間、海上保安庁とインド沿岸警備隊による「日印海上保安機関長官級会合」が東京で開催されます。1日には、海上保安庁とインド沿岸警備隊の船艇・航空機が参加する展示・連携訓練を羽田沖にて実施し、2日には、海上保安庁本庁において長官級会合を実施します。

なお、展示・連携訓練は、同時期に別途開催される「第10回アジア海上保安機関長官級会合」の一環としても実施されます。

1. 経緯

海上保安庁とインド沿岸警備隊は、平成11年10月のアロンドラ・レインボー号事件を契機として、平成12年に両海上保安機関による長官級会合を開催しました。本会合において両長官の定期的な相互訪問に合意し、以降、両機関の間で長官級会合を原則年一回開催してきたところ、今回で14回目の開催となります。

両機関は、長官級会合を通じて海賊対策に関する情報の共有やインド周辺国の海上法執行能力の強化等に合意し取り組んでいるほか、連携訓練の実施を通じて海賊対処能力の向上を図っています。

2. 開催概要

(1) 長官級会合

日時：平成26年10月2日（木）、午前

場所：海上保安庁 本庁内

(2) 展示・連携訓練

日時：平成26年10月1日（水）午前11時から午後0時頃まで

場所：羽田沖

3. 参加者

日本側：佐藤 雄二 海上保安庁長官 ほか

インド側：アヌラグ G タプリアル 沿岸警備隊長官 ほか

4. 主な議題

- インド近海におけるソマリア海賊対策の連携強化
- インド周辺国における海上法執行能力の強化
- アジア長官級会合（HACGAM）における取組みの連携強化 など

5. 展示・連携訓練の概要

- 容疑船追跡捕捉展示訓練（複合艇等を用いた訓練、海上保安庁のみで実施）
- 捜索救助訓練（回転翼機による吊り上げ、日印それぞれの巡視船への回転翼機の着船等、日印合同で実施）
- 海賊対策連携訓練（海賊容疑船の追跡訓練等、日印合同で実施）